

資料

「個別最適な学び」を取り入れた単元計画の提案 生活科の単元計画例

- 1 教科名及び対象 生活科 小学校第2学年
- 2 単元名 「おいしい野さいをそだてるぞ！」 全16時間
- 3 想定した児童の状況
35名の児童がおり、昨年度は全員一人一鉢でアサガオの栽培を行っている。本単元の野菜作りについては、
農業の手伝いをしている児童 1名
家庭菜園で野菜作りを経験している児童 3名
幼稚園等でサツマイモ等の野菜を育てたことがある児童 21名
野菜作りの経験がない児童 10名 と、これまでの生活経験もさまざまである。

○生活科の本単元における「個別最適な学び」を取り入れるための考え方

1. 領域の設定, 単元構想について

今回の事例で作成した単元は、生活科の内容(7)動植物の飼育・栽培を扱う。栽培する野菜や栽培方法、自分の思いや願いを伝えていく方法など、児童が個々の学びや協働的な学びを基に選択する場面が必然的に起こり、対象との関わりが深まる栽培活動になっていくと考える。

単元をスタートさせる前に、野菜の栽培に興味・関心をもつきっかけ作りや環境整備を行い、児童から「育てたい」という思いを引き出していく。児童の「育てたい」という思いを実現していくために、自分が育ててみたい野菜の栽培を中心に個別の学びがスタートする。個別の学びの進捗状況を踏まえながら、全体で共有し、共有したことを自分の学びへとつなげ栽培活動を行っていく。単元を通して、児童が互いに植物や自分自身に対する気付きや疑問、思いや願いを出し合う場をもち、具体的な活動や体験とそれらを振り返ったり表現したりする活動を繰り返しながら展開していく。さらに、栽培活動を通して、植物との関わりだけでなく、友達や地域の大人との関わりの中で、自分自身を見つめることにもつなげることができると考える。

2. 個別の学びと協働的な学びの位置付け

「個別の学び」で得た気付きを「協働的な学び」の場(グループや全体)で共有したり、教師が価値付け・意味付けしたりすることで、新たに得られた気付きを再度「個別の学び」で思考を繰り返していく。単元を通して、教師がファシリテーターとなり、試行錯誤や繰り返す場や伝え合いの交流する場で、「個別の学び」と「協働的な学び」を交互につなげながら授業を展開していくことで、主体的・対話的で深い学びを実現していく。

3. ゴールに到達する妥当性

本単元では、児童の興味・関心から出てきた多くの野菜の中から数種類に絞り、その中から児童がどの野菜を育てるかを決定する。栽培中に起こる問題に対してのつまずきには、活動と表現を繰り返す過程で、個別での対応やグループでの対応を行い、それらを全体の間でも共有していく。

また、学習意欲の高い児童に対しては、他者との交流機会を生かし、多様な相手意識をもたせたり、地域の野菜作りに視野を広げたりと、児童の関心や意欲をより高められるような工夫を行う。さらに、栽培活動に意欲が向かない児童に対しては、個別指導やグループ指導の形態にしたり、教師と一緒に活動するなどの手立てを講じたり、相談したり、助けを求めたりしやすいような授業づくりを行うことで全員がゴールに到達できるよう展開をしていく。

生活科の単元計画

1 対象 小学校第2学年

2 単元名 「おいしい野菜をそだてるぞ！」

3 単元の見目標

ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物への親しみをもち、大切にしようとする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、それらは自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。	ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。	ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

5 小単元における評価規準

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
I そだてたいな、できるかな		①野菜の特徴などを意識しながら、育ててみたい植物を選んだり決めたりしている。	①自分が育てたい野菜について関心を持ち、思いや願いをもって関わろうとしている。
II たねをまこう なえをうえよう	①それぞれの野菜には、野菜に適した準備や植え方などがあることに気付いている。	②種や苗の植え方などについて気付いたことや思ったことを絵や言葉で表現している。	
III お世話をしよう	②育てている野菜の成長する様子や変化や、成長に合った世話の仕方があることに気付いている。	③野菜の立場に立って関わり方を見直しながら、世話をしている。	②育てている野菜の状況に応じて、詳しい人にお世話の仕方を聞いたり、本などで調べたりしながら、世話をしようとしている。

IV ○○のようすをつたえよう	③異なる野菜にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。	④野菜の変化や成長の様子について、継続的に観察し、友達の野菜と比べながら、気付いたことを絵や言葉で表現している。	
V しゅうかくしよう	④野菜への親しみが増し、工夫して世話ができるようになったことに気付いている。		③育てた野菜への親しみや愛着をもったり、自分の関わりが増したことに自信をもったり実感し、生命のあるものとして関わろうとしている。
VI ふりかえろう！ チャレンジしよう！		⑤育ててきた植物のことや心を寄せて世話をしてきたことを振り返り、表現している。	④野菜を育てることや野菜のある生活について関心を持ち、これからも継続的に野菜に関わっていこうとしている。

6 単元計画

小単元の見出し	学習活動	評価規準 【評価の観点】（評価方法）
I そだてたいな、できるかな 野菜の栽培に関する経験を話す活動を通して、自分が育てたい野菜を決めようとする事ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培についての経験を話し合う。 栽培方法を調べたり、計画を立てたりする。 野菜の育て方について、詳しい人に聞いたり、本などで調べたりする。 育てる野菜を決める。 	【思判表①】 (発言・行動観察・野菜ノート) 【態度①】 (発言・行動観察)
II たねをまこう ・ なえをうえよう 種まきや苗の植え付けなどの活動を通して、それぞれの野菜に合った育て方があることに気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の種や苗、育てる場所、道具などの準備をする。 種まきをしたり、苗の植え付けをしたりする。 	【知技①】 (発言・行動観察) 【思判表②】 (発言・行動観察・野菜ノート) 【態度①】 (発言・行動観察)

<p>III お世話をしよう</p> <p>野菜の世話を継続的に行う中で、気付いたことや思ったことを表現したり、問題を解決したりする活動を通して、野菜の様子や変化に気づき、世話の仕方を変えていくことができる。</p>	<p>・野菜の成長を観察し、成長を記録したり、世話をしたりする過程で起こった問題をクラスで共有し、解決策を考えたりする。</p>	<p>【知技②】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p> <p>【思判表③】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p> <p>【態度②】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p>
<p>IV ○○のようすをつたえよう</p> <p>友達と自分の世話の仕方を比べながら、育てている野菜に合った育て方で世話をする活動を通して、異なる野菜にも同じような特徴や性質があることに気付くことができる。</p>	<p>・野菜の成長についての報告会を開き、それぞれの野菜の成長の様子や世話の仕方について比べたり、共通点を見付けたりする。</p>	<p>【知技③】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p> <p>【思判表④】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p>
<p>V しゅうかくしよう</p> <p>自分の育てた野菜を収穫する活動を通して、野菜の成長や、自分自身の成長に気付くとともに、野菜に親しもうという思いをもつことができる。</p>	<p>・野菜の収穫をし、収穫できた喜びを表現（絵本、紙芝居、新聞、歌、劇、動作化等）する。</p>	<p>【知技④】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p> <p>【態度③】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p>
<p>VI ふりかえろう！チャレンジしよう！</p> <p>自分の育てた野菜を収穫する活動を通して、野菜の成長や、自分自身の成長に気付くとともに、野菜に親しもうという思いをもつことができる。</p>	<p>・これまでの活動を振り返り、頑張ったことや更に取り組んでみたいことを表現したり、伝え合ったりする。</p>	<p>【思判表⑤】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p> <p>【態度④】 (発言・行動観察・野菜ノート)</p>

★他教科との合科・関連

生命の尊さ、自然愛護 : 道徳

野菜の成長記録 : 国語, 書写, 図工

野菜について調べる・インタビュー : 国語, 特活

野菜の大きさ調べ : 算数

お世話になった人などへの手紙 : 国語, 書写

7 単元の学習指導案

	時 数	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆努力を要する状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 【評価の観点】 評価方法
I	2	<p>野菜の栽培についての経験を話し合う。 栽培方法を調べたり、計画を立てたりする。 育てる野菜を決める。</p> <p>① 情報交流 ② 調べ学習 ③ 情報交換 ④ 情報整理</p>	<p>◇野菜に関する絵本や図鑑などを用意しておく。 ◇学校の図書室の野菜に関する本の蔵書の確認や、地域の図書館と連携を図り環境を整える。 ◇読み聞かせの時間に、野菜を育てる話や料理が出てくる話、種についての絵本を読んだり、読んでもらったりする。（実物があるとより効果的） ◇地域の農家の方やJAなどに相談できるよう連携をとっておく。（児童からの提案を予測しておく）</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>おいしい野菜をそだてるぞ！ ～ アサガオと にてるのか!? にてないのか!?～</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【主な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサガオと野菜は、にている？ → 食べるもの 好きなものと嫌いなものがある お店で買うもの 畑で育てるもの 種類がたくさんある 種がある 花がさく ・野菜はどこで、どうやって作っているのかな？ → 畑で作っている 水やりなどのお世話が大変 虫や鳥が食べる 家でも育てられる（家庭菜園など） 植木鉢・プランターでも育てられる 苗も種も売ってある ・育ててみたい野菜は？育てることができそうな野菜は？ → 好きな野菜を育てたい ○○嫌いだけれど、自分で育てたら食べられるかな。 ・アサガオと同じように育てることができるかな？ → 自分たちでも育てることができるか知りたい。 調べてみよう。 → 図書室・ICTの活用 聞いてみよう。 → 家族・地域の人・3年生 </div> <p>◇これまでの野菜栽培の経験や、アサガオ栽培の経験を振り返りながら、身近な野菜について知っていることを表現したり、伝え合ったりしながら、児童の思いを膨らませていく。 ◆野菜が苦手な児童には、家の人への思いや自分の願いを聞き、野菜栽培の思いをもたせる。 ◆写真や実物を見せながら、育てたい野菜は何か、どうして育てようと思ったかなど、発言しやすくする。 ◇地域の農家の方やJAなどに相談する際、訪問や対面での交流が難しい場合は、代表者のみの交流やICTを活用して交流を行う。（Web会議、ビデオレター、メール等） ◇野菜ノートを用意し、調べたことや気付いたことなど、児童がいつでも自由にかけるようにしておく。 ノートは、マスや行の数が異なる数種類を用意し、児童が自由に選べるようにする。</p>	

			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">【主な発問】</p> <p>・たくさん調べた野さいは、全部育てられそう？ → 種をまいたり、苗を植えたりする時期が決まっていた。収穫する時期もある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>条件①種まき・苗植えが4月下旬～5月中旬</p> <p>条件②夏休み前に収穫できそうなもの</p> <p>条件③自分たちで育てることができそうなもの</p> </div> <p>・野さいを育てるには、どんなものが必要かな？ → 種・苗 植木鉢 畑 土 道具（畑を耕す・土づくり） 自分たちで準備できるものはあるかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【予想される反応】</p> <p>夏休み前には収穫したいな。 旬の時期がおいしく食べられるって聞いた。 〇〇さんは、今からだと△△がお勧めだと教えてくれた。 △△は、プロでも難しいって言っていたよ。</p> </div> <p>◇児童が調べてきたことをつながげながら、選ぶ条件を確認し、育てることができる野菜を数種類に絞っていく。 ◇給食の献立などから、旬の野菜について興味をもたせる。（〇月によく使われる野菜調べや栄養士や給食委員会からのメッセージなど） ◇種まき・苗植えの時期や収穫の時期を視覚化（掲示物や野菜カレンダーの活用）する。 ◇児童が調べたことを基に、自分たちで準備するもの（家からもってくるものや借りるもの）と学校で準備できるものを決めておく。 ◇児童が調べてきたよい種や苗についての情報や土づくりについての情報も整理し、まとめておく。</p>	<p>【思判表①】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p> <p>【態度①】 （発言・行動観察）</p>
II	2	<p>野菜の種や苗、育てる場所、道具などの準備をする。 種まきをしたり、苗の植え付けをしたりする。</p>	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>おいしい野さいをそだてるぞ！ ～じゅんぴはOK?おいしくそだってね～</p> </div> <p>◇畑の場所や学校にある植木鉢や農具の使用については、植栽担当との連携が必要。 ⇒可能であれば、栽培委員会や植栽担当教諭への交渉も児童が行う。</p> <p>◇種や苗を自分で選べるように、多めに準備しておく。 ⇒可能であれば、児童とともに買いに行ったり、注文したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【主な発問】</p> <p>・種まきをするときに気を付けることは？ → 選択時：形がよいもの 大きいもの 茎が太いもの など 土づくり：分量 しっかりまぜる 空気を入れる など ・苗植えをするときに気を付けることは？ 植え付け時：優しく扱う 穴の深さ など 植え付け後：水やりの仕方 植木鉢を置く場所 など</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">*前時までの活動を振り返りながら、作業の手順を確認していく。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【予想される反応】</p> </div>	

◇児童が調べてきたよい種や苗についての情報や土づくりについての情報を確認し、自分が決めた野菜に合ったやり方で、種をまいたり、苗を植えたりする。

◆同じ野菜を選んだ児童で集まり、作業を行う前に手順を確認することで、自分がこれから行うことをイメージさせる。

◇種から育てる場合は、種まきから発芽までの期間を考えて計画的に取り組む。

◇アサガオの栽培を振り返りながら、植木鉢を置く場所についても考えておく。

◇土を触わる際、触った後の衛生面についても指導する。

◇ICTを活用して、活動の記録を残していく。

◆野菜ノートに記入が難しい児童には、録画機能を活用し、動画や音声を使って記録しておく。後日、活動中の写真を貼り、その時の会話などを吹き出しにして言葉を記入していく。

【種まき】

- ① ポットに土を入れ、ジョーロで軽く水をまいておく。
- ② ペットボトルの蓋で中央に穴をあけ、種を3～5粒まく。
- ③ 土をつまみながらかぶせる。

【苗の植え付け】

- ① 培養土を半分入れてから肥料を混ぜる。
- ② 残りの培養土を入れ平らにならす。
- ③ 中央に握りこぶしぐらいの穴をあけ、ジョーロで軽く水をまいておく。
- ④ 5cmぐらいの深さに水を入れたバケツに、野菜苗を5～10分着けて吸水させる。
- ⑤ 苗の株本を人差し指と中指ではさみ、逆さにして取り出す。
- ⑥ 植え穴に苗を置き、周りの土を株本に寄せて軽く押しつける。
- ⑦ 植えてから1週間は上から水をかける。

ミニトマト：5月下旬～6月上旬
ナス：4月下旬～5月中旬
エダマメ：4月上旬～6月上旬
キュウリ：4月下旬～5月中旬

【知技①】
(発言・行動観察)

【思判表②】
(発言・行動観察・
野菜ノート)

【態度①】
(発言・行動観察)

おいしい野菜いをそだてるぞ！ ～おせわ名人になろう～

- ◇野菜の高さを記録したり、実の大きさを測ったりするなど、野菜の成長を実感できるように、成長の記録を掲示していく。
- ◇困ったことや発見したことなど、野菜ノートや付箋を活用し、常時、観察・記録ができるようにしておくとともに、掲示板などで共有できるようにする。
- ◇掲示板を野菜ごとに分け(★別紙)、児童が調べてきた情報を共有(水やり・肥料・わき芽・支柱・害虫など)し、情報を基に互いにアドバイスをし合ったり、教師や専門家に相談したりできるようにする。
- ◇お世話をする過程で起こった問題をクラスで共有し、児童が図鑑やインタビューなどで調べてきたことを中心に話し合いを進めながら解決策を考える。(朝の会や帰りの会などの利用)

野菜の成長を観察し、成長を記録したり、世話をする過程で起こった問題をクラスで共有し、解決策を考えたりする。

- ① お話タイム
- ② お世話・観察タイム
- ③ 報告タイム

<起こりうる問題>

- ・支柱の立て方
- ・葉っぱの色が変わる
- ・虫に食べられている
- ・わき芽の取り方
- ・実が大きにならない
実の色がつかない

《対処の仕方》

- 支柱の立て方について、図鑑やインタビューで調べてきたことを共有し、自分が育てている野菜は、どの立て方が良いのかを考えさせて、支柱を立てる。自分がチャレンジしたい立て方でもよいとする。
- 原因を探りながら、自分のお世話の仕方を振り返る。
水やりが原因 : 世話の仕方を変える(足りない・やりすぎ)
虫が原因 : 退治する方法を調べる
肥料が原因 : 世話の仕方を変える(足りない・やりすぎ)
- 虫の正体を突き止め、駆除の仕方、手入れの仕方をアドバイスし合う。
- 野菜ごとに調べてきことをもとに、アドバイスし合う。
イラストや写真などを使い、掲示板に残しておく。
- 原因を突き止め、手入れの仕方をアドバイスし合う。
水やりが原因 : 世話の仕方を変える(足りない・やりすぎ)
虫が原因 : 退治する方法を調べる
肥料が原因 : 世話の仕方を変える(足りない・やりすぎ)
病気が原因 : 病気を治す方法を考える

- ◇野菜ノートへの記入だけでなく、ICTを活用し、写真や動画も記録として残しておく。
- ◇児童の野菜ノートなどを基に、毎朝野菜の話をしたり、他の授業で取り上げたりしながら、児童が継続的に関わるようにする。

【知技②】
(発言・行動観察・野菜ノート)

【思判表③】
(発言・行動観察・野菜ノート)

【態度②】
(発言・行動観察・野菜ノート)

		<p>◆野菜ノートにかくことが苦手な児童には、写真で記録しておくことや、付箋に短い言葉や文章で記録しておくことを促す。</p> <p>◆日々の世話が難しい児童には、教師も一緒に時間を決めて世話を行う。</p>										
IV	2	<p>野菜の成長についての報告会を開き、それぞれの野菜の成長の様子や世話の仕方について比べたり、共通点を見付けたりする。</p> <p>① ミニ報告会 ② 全体交流</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>おいしい野菜いをそだてるぞ！ ～おいしい野菜いにするためのほうこく会をしよう!!～</p> </div> <p>◇同じ野菜ごとにグループを作り、自分の野菜の育ち方や世話の仕方を振り返る時間（ミニ報告会）をとり、その後、グループで報告する内容を決める。</p> <p>◆報告する内容が浮かばない児童には、教えてカード（<u>話すお題</u>が書いてあるカード）を使って、カードに沿って話をしていくように促す。 Ex. 一番嬉しかったこと・大変だったこと・びっくりしたこと</p> <p>◇嬉しかったことや頑張ったことだけでなく、困ったことや解決していないことなども報告の内容に入れてよいことを伝える。</p> <p>◇報告の際に必要な資料（写真・動画・野菜ノートの記述など）を使うと分かりやすいことに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%; text-align: center;">【主な発問】</th> <th style="width: 70%; text-align: center;">【予想される反応】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・にているところは？</td> <td>育ち方 → 種から芽が出て双葉になる。その後、大きい葉っぱがたくさん出てくる。わき芽がある。つぼみが先で、花が咲く。 など 世話の仕方 → 水やりと肥料をやる。 わき芽を取る。 支柱を立てる。 虫退治。 など 毎日大変だけど、大きくなるのが嬉しい。 お世話を頑張ると、大きな野菜になってくれる。</td> </tr> <tr> <td>・ちがうところは？</td> <td>育ち方 → はっぱの形・数 花の大きさや色・形 茎の太さ 実の形や数 など 世話の仕方 → 水やりや肥料の回数 支柱の立て方 わき芽の取り方 など</td> </tr> <tr> <td>・困っているよ</td> <td>→ 収穫前なのに、虫に食べられてしまう。 ちゃんと水やりしているのに、葉っぱの色がおかしい。 わき芽を取り忘れたよ。</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>◇野菜ノートの拡大版や記録写真などを使って、共通点が視覚的にも分かるようにする。（板書の工夫）</p> <p>◇1年生で育てたアサガオの成長とも比べながら気付きを出させていく。</p> <p>◇報告会での気付きが、今後の世話の仕方につながるように声掛けをする。</p>	【主な発問】	【予想される反応】	・にているところは？	育ち方 → 種から芽が出て双葉になる。その後、大きい葉っぱがたくさん出てくる。わき芽がある。つぼみが先で、花が咲く。 など 世話の仕方 → 水やりと肥料をやる。 わき芽を取る。 支柱を立てる。 虫退治。 など 毎日大変だけど、大きくなるのが嬉しい。 お世話を頑張ると、大きな野菜になってくれる。	・ちがうところは？	育ち方 → はっぱの形・数 花の大きさや色・形 茎の太さ 実の形や数 など 世話の仕方 → 水やりや肥料の回数 支柱の立て方 わき芽の取り方 など	・困っているよ	→ 収穫前なのに、虫に食べられてしまう。 ちゃんと水やりしているのに、葉っぱの色がおかしい。 わき芽を取り忘れたよ。	<p>【知技③】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p> <p>【思判表④】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p>
【主な発問】	【予想される反応】											
・にているところは？	育ち方 → 種から芽が出て双葉になる。その後、大きい葉っぱがたくさん出てくる。わき芽がある。つぼみが先で、花が咲く。 など 世話の仕方 → 水やりと肥料をやる。 わき芽を取る。 支柱を立てる。 虫退治。 など 毎日大変だけど、大きくなるのが嬉しい。 お世話を頑張ると、大きな野菜になってくれる。											
・ちがうところは？	育ち方 → はっぱの形・数 花の大きさや色・形 茎の太さ 実の形や数 など 世話の仕方 → 水やりや肥料の回数 支柱の立て方 わき芽の取り方 など											
・困っているよ	→ 収穫前なのに、虫に食べられてしまう。 ちゃんと水やりしているのに、葉っぱの色がおかしい。 わき芽を取り忘れたよ。											

V	2	<p>野菜の収穫をし、収穫できた喜びを表現する。</p> <p>① お話タイム ② お世話・観察タイム ③ 報告タイム</p>	<p style="text-align: center;">おいしい野さいをそだてるぞ！ ～よろこびをつたえよう！</p> <p>◆お世話を頑張ってきたが実がならなかった児童や途中で枯らしてしまった児童には、教師が予備として育てきた野菜の収穫をさせたり、友達の収穫を手伝ったりすることで、収穫できた喜びと実感を味わい、達成感と満足感をもたせる場を設定する。</p> <p>◇収穫後の野菜については、児童の思いや各家庭の判断を加味し、家庭で調理して食べるのか、学校で食べるのか検討する。</p> <p>◇お世話になった人へも収穫の喜びを伝える活動（プレゼントする・手紙・メール・ビデオレターなど）を設けるとともに、相手からの返事や感想を児童に伝え、次の活動へ意欲をもたせる。</p> <p>◇他教科（国語・図工など）との関連を図る。</p>	<p>【知技④】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p> <p>【態度③】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p>						
VI	4	<p>これまでの活動を振り返り、頑張ったことやもっとやってみたいことを表現したり、伝え合ったりする。</p>	<p style="text-align: center;">おいしい野さいをそだてるぞ！ ～よろこびを広げよう！～</p> <p>◇これまでの記録や写真を見ながら、野菜の成長とともに、自分たちの成長も実感できるようにする。</p> <p>◇野菜を育て、収穫したことで、普段の食生活への変化があったエピソード（嫌いだったけど、食べられるようになった、食べる努力をしている、たくさん収穫したのでご近所の人にもあげたら喜ばれたなど）を紹介するなど、これからも野菜に親しもうという思いをもたせる。</p> <p>◇これまでの活動を振り返り、頑張ったことやもっとやってみたいことをどんな伝え方で伝えるか、伝える方法について意見を出し合う。</p> <p>◇誰に何を伝えたいのかをはっきりさせておく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>【予想される相手】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった地域の人 ・おうちの人 ・1年生、上級生 ・幼稚園、保育園児 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>【伝えたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の育て方 ・野菜を育てることの楽しさや大変さ ・野菜の育ち方 ・収穫の喜び ・自分の成長 </div> </div> <p>◆これまでどんな伝え方をしてきたか、実物や写真等を使って振り返ったり、上級生（委員会や総合的な学習の時間の報告など）がどんな方法で伝えているかを思い出させたりする。</p> <p>◆一人での活動か同じ方法でのペアやチームを組んでの活動を選ぶようにする。</p> <p>◆アドバイスタイムや教えてほしいなタイムなどの意見交流の場を設け、良い部分を紹介し合う。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">方法</th> <th style="width: 35%;">良い点</th> <th style="width: 50%;">予想されるつまずき ◆支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵本 ・</td> <td>・何度でも見ることができ る。</td> <td>絵を描くことが苦手 ◆記録写真の活用</td> </tr> </tbody> </table>	方法	良い点	予想されるつまずき ◆支援	絵本 ・	・何度でも見ることができ る。	絵を描くことが苦手 ◆記録写真の活用	<p>【思判表⑤】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p> <p>【態度④】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p>
方法	良い点	予想されるつまずき ◆支援								
絵本 ・	・何度でも見ることができ る。	絵を描くことが苦手 ◆記録写真の活用								

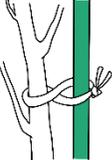
紙芝居	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過に沿って作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆野菜ノートの活用（カラーコピーや拡大） 文章を書くことが苦手 ◆短い文章や単語、詩での表現
新聞	<ul style="list-style-type: none"> 何度でも見ることができる。 たくさんの人に見てもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトがうまくいかない ◆新聞の枠組みをいくつか用意 ◆書きたいこと・伝えたいことを絞るため、順番と記事の大きさ（教えた度）を小ささまざまな大きさの付箋を使って考えさせる。 ◆記録写真の活用
歌	<ul style="list-style-type: none"> ビデオなどに撮っておくと、何度でも見る・聞くことができる。 動きや踊りをつけるとより伝わる。 	<ul style="list-style-type: none"> メロディーが浮かばない ◆知っている歌のメロディーの活用 歌詞が浮かばない ◆伝えたいことを絞るため、一番印象に残っていることを考えさせ、その時の気持ちや様子を出させていく。 ◆栽培活動を記録写真や動画で振り返りながら、言葉を出させていく。 ◆擬音語や擬態語などの表現を使用しながら、語彙を広げていく。
劇 ・ 動作化	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の成長の様子やお世話の仕方など、実際に動きを見ることができる。 ビデオに撮っておくと、何度でも見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオが書けない ◆活動の場面ごとに細かく区切って、考えさせていく。 ◆活動中の動きを動画や写真で振り返りながら書いていく。 ◆一番伝えたいことに絞って書く。 動きが浮かばない ◆野菜の成長の様子を動画や写真を使って振り返り、その様子や動きを体でまねながら考える。 ◆野菜ノートの言葉（○○のような、△△みたいな）からイメージを膨らませていく。 動きや声が小さい ◆動画機能を使い、自分たちで録画・視聴を行い、アドバイスし合いながら、改善を図っていく。
<p>◇<u>伝えたい相手に伝える場</u>をもち、先方からの言葉や感想を児童に伝えるようにする。 ⇒ 実際に出向く、Web 会議、ビデオレター、実物を送るなど。 相手の都合も配慮する必要がある。</p>		

★別紙

＊野菜ごとの掲示板例＊

児童が調べてきたことやJAなどの専門家からのアドバイスを児童と一緒に掲示していく。

常時活動や全体での交流の場で活用していく。 ⇒児童同士でのアドバイス・教師の支援・自分で考える

	ミニトマト 	エダマメ 	キュウリ 
水やり	<ul style="list-style-type: none"> 土の表面がかわいたら（からからになったら）、たっぷりと水をあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 土の表面が乾いたら（からからになったら）、たっぷりと水をあげる。 とくに発芽（芽が出る）までは土の表面を乾かさないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 水をたくさん吸うので、十分あげる。 植木鉢の底から、水が流れ出るくらいあげる。 夏は朝、夕たっぷりとあげる。
肥料	<ul style="list-style-type: none"> 追肥は、わき芽を取ってから2週間後に行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 植え付け後、2週間に1回のペースで追肥する。
間引き	<ul style="list-style-type: none"> 元気なものを1本残す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本葉が3枚になったら、一番強い（くきが太い）1本を残し、残りは根元からはさみで切り、土よせする。 	
わき芽とり	<ul style="list-style-type: none"> わき芽かきは、手で行う。はさみを使うと病気になるやすい。 1本仕立て、2本仕立て 		<ul style="list-style-type: none"> 5節でのわき芽はすべて取り除き6節からわき芽をのばす。 伸ばしたわき芽には、葉を2枚残して先っぽを切りとる。
支柱	<ul style="list-style-type: none"> 苗が30cmの高さに伸びたら、そえ木を外して支柱を立てる。 茎を8の字結び（8の字誘引）で支柱に結び付ける。 実になる所の近くは実を傷めるのでさける。 		<ul style="list-style-type: none"> 苗が30cmの高さに伸びたら、そえ木を外して支柱を立てる。 茎をうずまき状に誘引すると、主茎（一番太く長いくき）を長くすることができるので、収穫量を増やせる。
害虫		<ul style="list-style-type: none"> 芽が出たばかりは、鳥がついばみにくるので注意する。 	
収穫	<ul style="list-style-type: none"> 熟した実は雨に当たると皮が破れやすくなる。 		<ul style="list-style-type: none"> 1、2番目にできた実は10cm程度で収穫すると、その後の果実が大きく充実する。 収穫は株を傷めないようにはさみで切り取る。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 夏にしゅうかくするとエダマメ、冬まで待ってしゅうかくするとダイズとなる。 	